



株主のみなさまへ

第97期 株主通信 2022年4月1日～2023年3月31日

Contents	中期経営計画	1	海外拠点紹介	11
	トップメッセージ	2	トピックス	12
	連結決算ハイライト	5	会社情報	13
	連結財務データ	6	株式情報・CSR	14
	事業概況	7	グローバルネットワーク	裏表紙
	高砂香料グループのサステナビリティ	9		

New Global Plan-1【NGP-1】2022年3月期～2024年3月期

3つの基本方針

海外の成長促進
国内の利益改善
サステナビリティの推進

5つの柱

- 顧客満足度向上
- 事業成長戦略推進
- 技術革新
- 利益体質改善
- 人材開発

7つの重点課題

- グローバル経営基盤の整備
- 海外拠点事業部門強化のための仕組み作り
- 合成事業生産体制の再構築
- FL・FR製品生産効率性の追求
- 海外拠点と日本を繋ぐ安定した人材の開発
- 先端科学による競争力のある技術の創成
- SDGsへの貢献を意識した製品の開発

創業精神／Corporate Philosophy

技術立脚の精神に則り社会に貢献する
Contributing to Society through Technology

企業理念／Corporate Mission

香りを原点とする革新的な技術を通して、
新しい価値を創造し続ける

Our mission is to create new value
through innovation rooted in **kaori**

※kaori : aroma in Japanese

Vision 2040

人にやさしく、環境にやさしく

- 多様な価値観を尊重する
- 自然と共生し、人々の生活に彩りを与える
- 夢と誇りを持って未知の世界へ挑戦する
- 常に高い技術を追求する、かけがえのない会社

Care for People, Respect the Environment

Our vision is to be:

- proud of our culture of respect, diversity and inclusion
- in harmony with nature, enriching and bringing well-being to daily life
- full of hope and ambition, confidently taking on new challenges
- eager to keep innovating, remaining an indispensable company



代表取締役社長

村村 聡

Q. 2023年3月期の事業の状況および2024年3月期の業績予想についてお聞かせください。

A. 2023年3月期は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受ける一方で社会経済活動との両立も徐々に進み、緩やかな持ち直しの動きがみられました。また、世界経済につきましては、ロシアのウクライナへの軍事侵攻、それを発端とするエネルギー市場の混乱、米中の貿易摩擦による経済への影響、世界的なインフレ、為替の変動など不安要素も多くありました。

このような中、高砂香料グループの売上高は前期比15.0%増、過去最高値となりました。

セグメント別では、日本はフレーバー部門において、伸長カテゴリーや新規得意先の開拓に注力し、着実な売上増を実現しました。ファインケミカル部門においては、生産効率の改善等により既存の医薬品中間体の供給可能数量を増加させ、さらには新規商材の獲得も実現いたしました。

米州においては、フレーバー、フレグランス部門とも

に、マルチナショナル得意先に加えて、国内・地域を地盤とする得意先への拡販も実現し、成長を維持いたしました。ファインケミカル部門においては、新規品の拡販など積極的な営業展開を図ったことにより好調に推移いたしました。

欧州においては、フレグランス部門が香粧品向け等の拡販に注力して好調に推移した他、フレーバー部門においては、アフリカ得意先とのビジネス拡大を実現いたしました。

アジアにおいては、フレーバー部門で注力カテゴリーである飲料およびセイボリー用香料の販売が好調に推移し、エマージングマーケットでの売上も好調に推移いたしました。フレグランス部門では、エアケア、パーソナルケア、ファブリックケアカテゴリーをターゲットに、マルチナショナル・主要ローカル得意先に経営資源を集中させたことにより、好調に推移いたしました。

利益面では、国内外において主力製品ならびに新製品の拡販に注力した他、原材料価格等の高騰に対する取り組みとして価格転嫁等も進めてまいりましたが、営業利益は前期比32.5%減となりました。

2024年3月期は、新型コロナウイルス感染症の経済活動への影響は和らぐものの、今後のウクライナ情勢や資源価格の動向、世界的な金融引き締め等を背景とした各国経済の下振れ懸念などもあり、依然として不確実性が極めて高い状況が続くものと思われます。

香料業界においては、競合他社との競争環境は厳しい状況が続いておりますが、市場としては、中国や東南アジアでの成長が引き続き期待できる一方、成熟市場である欧米でも底堅い成長が見込まれます。ただし、原材料およびエネルギー価格の高騰、サプライチェーンの混乱

等の影響を受け、利益面では厳しい環境となることを想定しております。

最終年度を迎えた中期経営計画についてご説明願います。

A. 2024年3月期は中期経営計画 New Global Plan-1【NGP-1】の最終年度となります。NGP-1では、「海外の成長促進」「国内の利益改善」「サステナビリティの推進」という3つの基本方針に基づき、5つの柱、重点課題を設定しています。

基本方針の一つ目「海外の成長促進」に関しては、近年、売上高、営業利益ともに安定的に成長してきて、グループ全体の業績を支えるようになってきた海外での事業を更に拡大すべく、各拠点において、組織の充実、活性化を図っています。また、グローバル基幹システムの構築を推進しており、昨年度シンガポール拠点への導入が完了し、グローバルテンプレートも確立しました。2024年3月期には、米国への導入を完了させ、その後はその他の拠点への導入を進めることで、経営資源を世界規模で統一してまいります。

一方、国内においては市場の拡大が見込めない中で、近年は利益面で厳しい状況にあります。海外での成長が著しいとはいえ、売上高全体の約4割は、今なお国内の売上が占めていることから、安定した収益を生み出す基盤としての役割を担うべく、利益改善を進めております。施策の一つとして、生産体制の見直しによる製造経費の削減を挙げていますが、引き続き自動化、省力化を軸に取り組んでまいります。また、フレーバー・フレグランス製品においても、引き続き事業部門・研究部門・生産部門を中心に検討してまいります。



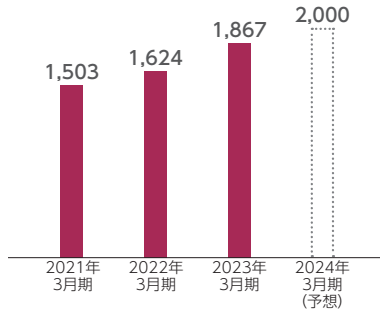
基本方針の3つめには、「人にやさしく、環境にやさしく」をスローガンに掲げたVison 2040を実現し、長期的な事業の成長を目指す観点から、「サステナビリティの推進」を挙げています。この取り組みの一つにSDGsへの貢献を意識した製品の開発があります。開発に関しては原料、製造方法、製造工程など、多角的な視点から検討を行う必要がありますが、中でも最新のバイオ技術の導入、それらの技術を用いた製造基盤の強化を促進しております。

これら3つの基本方針に基づき、組織・部門横断的な取り組みを推進することで、NGP-1最終年度・2024年3月期は、売上高2,000億円の数値目標を達成し、少しでも多くの営業利益を積み上げるべく、全社一丸となって尽力してまいります。

株主の皆様には、高砂香料グループの更なる発展にご期待いただき、これからも長期的な支援を賜りますようお願い申し上げます。

売上高

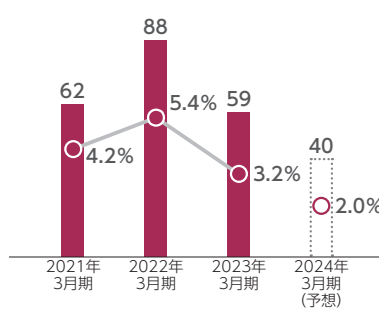
単位：億円



営業利益／売上高営業利益率

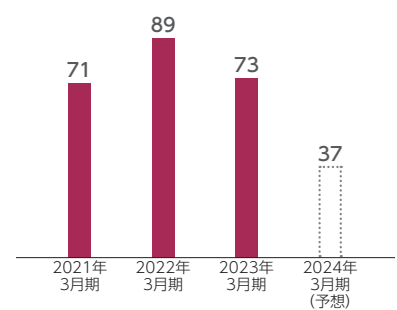
単位：億円

■ 営業利益 ● 売上高営業利益率



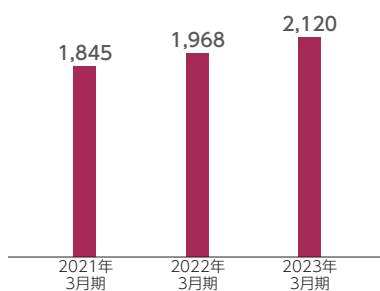
親会社株主に帰属する当期純利益

単位：億円



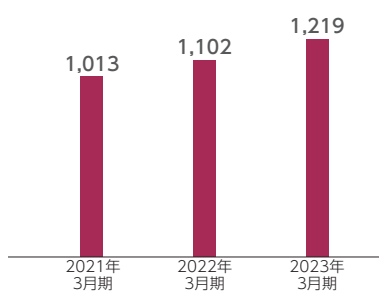
総資産

単位：億円



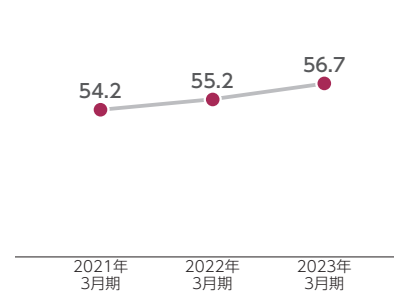
純資産

単位：億円



自己資本比率

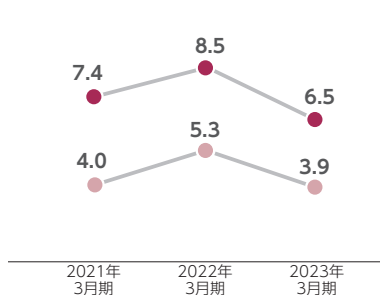
単位：%



ROE(自己資本当期純利益率)／ROA(総資産経常利益率)

単位：%

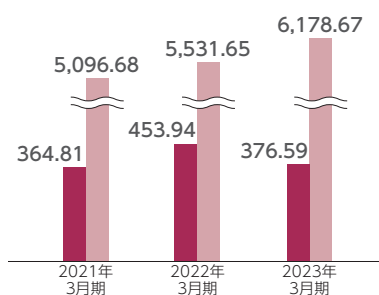
● ROE ● ROA



EPS(1株当たり当期純利益)／BPS(1株当たり純資産)

単位：円

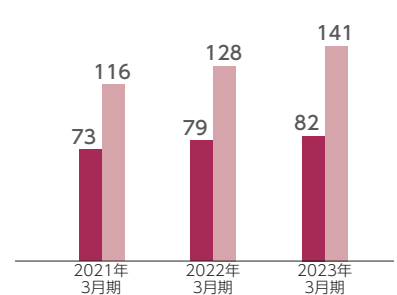
■ EPS ■ BPS



設備投資額／研究開発費

単位：億円

■ 設備投資額 ■ 研究開発費



詳細な財務データは当社IRサイトをご覧ください。 <https://www.takasago.com/ja/ir>

高砂香料 IR

検索

経営成績

単位：億円

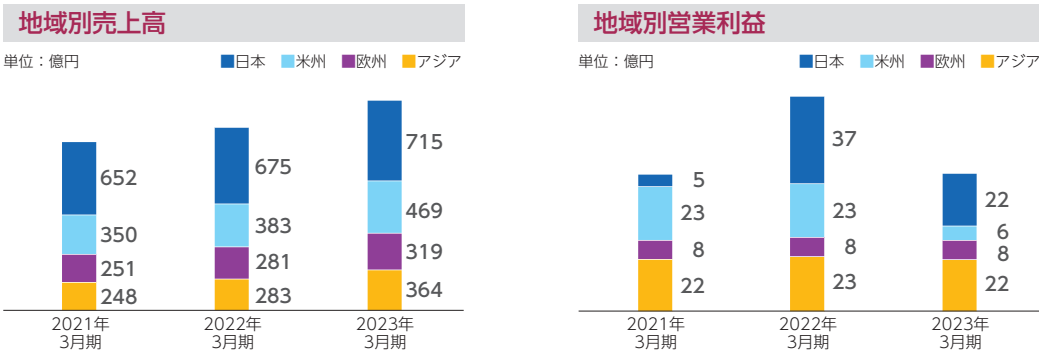
科 目	2019年3月期 (第93期)	2020年3月期 (第94期)	2021年3月期 (第95期)	2022年3月期 (第96期)	2023年3月期 (第97期)
売 上 高	1,505	1,524	1,503	1,624	1,867
売 上 原 価	1,047	1,098	1,053	1,113	1,323
売 上 総 利 益	457	426	450	511	544
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	398	399	387	423	484
営 業 利 益	58	26	62	88	59
経 常 利 益	67	28	72	101	79
親会社株主に帰属する当期純利益	47	34	71	89	73

財政状態

単位：億円

科 目	2019年3月期 (第93期)	2020年3月期 (第94期)	2021年3月期 (第95期)	2022年3月期 (第96期)	2023年3月期 (第97期)
流 動 資 産	943	909	917	1,068	1,171
固 定 資 産	918	918	927	899	949
流 動 負 債	529	554	503	571	611
固 定 負 債	358	326	327	294	289
純 資 産	973	947	1,013	1,102	1,219
(う ち 株 主 資 本)	(834)	(853)	(912)	(991)	(1,047)
総 資 産	1,862	1,828	1,845	1,968	2,120

地域別概況



■ 日 本

フレーバー部門およびファインケミカル部門が堅調に推移した他、原料高騰の影響等を受け、増収減益となりました。

■ 米 州

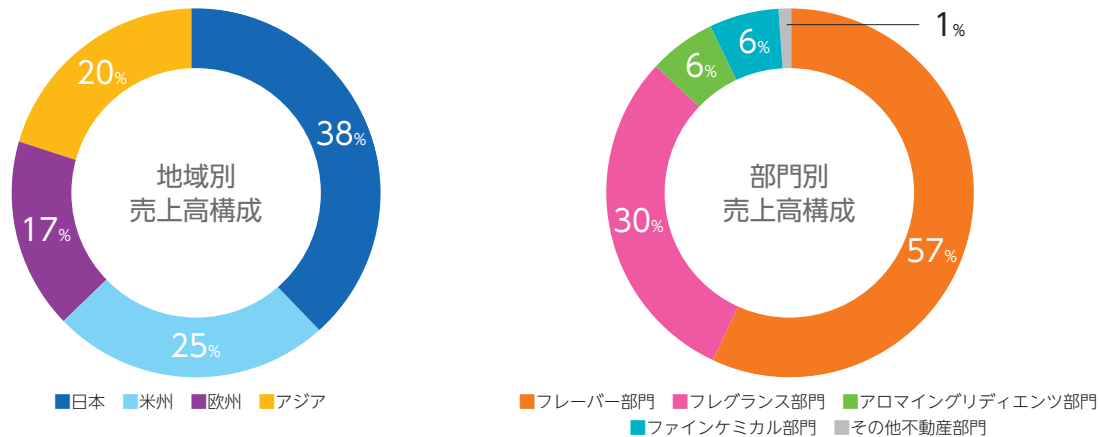
米国子会社において新規品の拡販など積極的な営業展開を図ったことにより、ファインケミカル部門等が好調に推移した他、原料高騰の影響を受け、増収減益となりました。

■ 欧 州

フランス子会社において香粧品向け等の拡販に注力した他、エネルギーコスト増等の影響を受け、増収減益となりました。

■ アジア

シンガポール子会社等において既存取引先等への取引拡大に取り組んだ他、原料高騰の影響を受け、増収減益となりました。



部門別概況



フレーバー部門

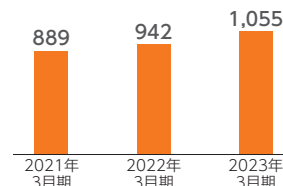
売上高 **1,055億円** [前期比11.9%増 ↑]

売上高 単位：億円

事業内容

飲料やデザート、菓子、乳製品、調理食品などに、優れた香りと風味を付与するフレーバーを提供し、さらに果汁やコーヒー、お茶といった食品原料も提供しています。

- 当社およびシンガポール子会社において飲料向け等が好調に推移した他、為替変動の影響を受け、増収となりました。



フレグランス部門

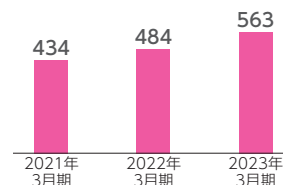
売上高 **563億円** [前期比16.3%増 ↑]

売上高 単位：億円

事業内容

香水や化粧品やシャンプー、洗剤、芳香剤、入浴剤といった商品に使用される香りを、残香性や拡散性、安定性にも優れたかたちでクリエーションし、提供しています。

- フランス子会社において香粧品向け等が好調に推移した他、為替変動の影響を受け、増収となりました。



アロマイングリディエーツ部門

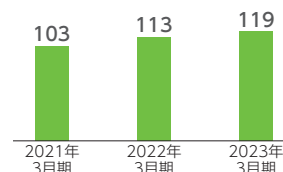
売上高 **119億円** [前期比4.9%増 ↑]

売上高 単位：億円

事業内容

光学活性で革新的かつユニークな香りの素材を開発し、高品質のフレーバー、フレグランスのクリエーションに用いています。

- スペシャルティ品等が好調に推移した他、為替変動の影響を受け、増収となりました。



ファインケミカル部門

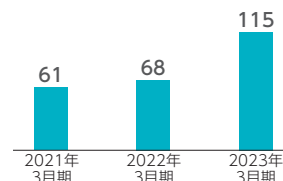
売上高 **115億円** [前期比67.8%増 ↑]

売上高 単位：億円

事業内容

独創的な触媒・不斉合成技術を核に、連続フロー技術による医薬品中間体、電子写真感光体などの機能性素材を提供しています。

- 医薬品中間体が伸長し、増収となりました。



※上記の他に、その他不動産部門の売上高14億円がございます。

グリーンケミストリー

基本的な考え方

当社研究開発本部では、「香りを原点とする革新的な技術を通して、新しい価値を創造し続ける」という企業理念のもと、中期経営計画【NGP-1】の重点課題として「先端科学による競争力のある技術の創成」「SDGsへの貢献を意識した製品の開発」を掲げています。目標達成に向けて、Vision 2040「人にやさしく、環境にやさしく」に則り、グリーンケミストリー12箇条を念頭においた環境に優しい研究開発を推進してまいります。

戦略、目指すところ

環境負荷軽減に向けて、当社独自の触媒技術の最大活用、最新のバイオ技術の導入、環境にやさしくエネルギー効率に優れたプロセス開発などにより、エネルギーや水の効率の利用ならびに温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいます。同時に、限られた天然資源を有効利用し、生物多様性を保全していくため、再生可能資源の探索・利用、代替素材開発による天然香料素材の使用量削減、未利用資源の活用などを検討しており、これらの環境に優しい研究活動を通じてVision 2040の実現を目指します。

アロマイングリディエントズの現在の取組み

アロマイングリディエントズ開発では、石油由来原料から再生可能原料への転換 (BIOSWITCH®) を進め、再生可能原料を用いた、Bio-based値*が高く生分解性の良い香料素材の開発に注力しています。また、グリーンケミストリーの重要な技術の一つであるバイオ技術についても、オープンイノベーションにより最先端の技術の導入を進めています。現在、その一環として、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 「カーボンリサイクル実現を加速するバイオ由来製品生産技術の開発／研究開発項目 産業用物質生産システム実証」事業を推進しており、バイオエコノミー社会へ貢献してまいります。

合成分野の実績

合成分野では、2021年に磐田工場内にあるプロセス開発研究所の新棟が本格稼働し、これにより触媒／合成技術の洗練化とプロセスの効率化がより一層図られ、廃棄物削減や省エネルギー化によって環境負荷が低減できると考えています。1987年の当社が関わる触媒的不斉水素化反応に関する論文が、米国化学会の2021年の歴史的化学論文大賞をアジアで初めて受賞しました。この技術が広く世界で活用され、グリーンケミストリーの普及に貢献したことを認められたと考えています。

今後の取組み

引き続きVision 2040「人にやさしく、環境にやさしく」に則った上記の戦略に基づき、グリーンケミストリーを中心とした環境にやさしい研究開発を推進してまいります。

※その化合物が有する炭素数のうち非石油化学原料由来の炭素数が占める割合



上海高砂・鑑臣香料有限公司

上海高砂・鑑臣香料有限公司 (STU) は、1993年2月に、高砂香料工業株式会社と中国最大手のフレグランス会社として長い歴史を持つ上海日用化学工業開発公司 (現、上海家化 (集団) 有限公司) との合併企業として設立され、今年30周年を迎えました。1995年11月には出資比率を60%に引き上げ、子会社としています。

現在は上海の中心地に本社・研究機能を持ち、上海の東側、浦東新区に工場を構えています。主にシャンプー、洗剤や化粧品といった日用品向け香料 (フレグランス) ならびに飲料、菓子や加工食品といった食品向け香料 (フレーバー) を研究開発・製造・販売しており、中国国内のグローバル企業およびローカル企業に製品を供給しています。

2022年は、新型コロナウイルス感染症に対する厳しい規制下での活動となりました。4月には上海市が全面的に都市封鎖を実施、上海市民は原則、外出することが禁じられ、STUの工場も都市封鎖と同時に製造停止となりました。5月に入り、限られた人員での工場再開が認められ、工場内に泊まり込みで製造を再開しました。毎日の検温、抗原検査ならびにPCR検査と厳しいガイドラインを遵守しての再開でした。このような環境の中でも製造を止めず供給責任を果たしたことで、2022年度は前年記録した過去最高売上を上回る結果を達成いたしました。

2023年は新型コロナウイルス感染症の規制も撤廃され、中国のGDP目標値も5%強を掲げています。STUも更なる飛躍に向けて、売上・利益の拡大とともに、環境や人にやさしく、社会に貢献できる会社を目指し、日々努力してまいります。

会社概要

中文社名: 上海高砂・鑑臣香料有限公司

英文社名: Shanghai Takasago-Union Fragrances & Flavors Co., Ltd.

創 業: 1993年2月15日

事業内容: 調合香料・食品香料・タバコ用香料など香料および食品と食品添加物の生産、販売

従業員数: 184名 (2023年3月31日現在)



本部



浦東工場

TOPIC・1 高砂のサプライチェーン脱炭素化への取り組み

企業として気候変動への対応が求められる中、高砂香料グループは、気候変動を重要な課題の一つと捉えています。気候変動対応の中でも最重要のGHG^{*1}排出量の削減について、当社グループはパリ協定の基準に合致したSBT^{*2}削減目標を設定し、その達成に向けグループ一丸となって削減活動を推進しています。2022年度には、環境省の「令和4年度サプライチェーン全体の脱炭素化推進事業」におけるモデル企業に選定され、自社における活動由来のGHG排出量だけでなくサプライチェーン活動全体でGHG排出量を大幅に削減するためのさまざまな削減施策を検討しました。また、CDP^{*3}からは取り組みが高く評価され、「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定されました。今後、サプライヤーエンゲージメントを推進するとともに、製品のサステナブル化にも取り組み、サプライチェーン全体の脱炭素化を推進します。気候変動の緩和およびカーボンニュートラル社会の実現に貢献できるよう、取り組みを加速していきます。

※1. 温室効果ガス (Greenhouse Gasの略)

※2. 科学的根拠に基づいたGHG排出削減目標 (SBT: Science Based Targetsの略)

※3. グローバルな環境NGOの一つで、投資機関又は事業会社の要請を受け「気候変動」「水セキュリティ」「森林」に対する企業の取り組みについて情報開示を促し、収集した情報を用いて分析・評価、その評価結果を開示しており、その評価結果はグローバルスタンダードとして認知されている



TOPIC・2 高砂ケミカル掛川工場内に「iFactory」竣工

2018年NEDO事業としてスタートした革新的連続生産設備「iFactory」が、2023年2月7日に高砂ケミカル掛川工場内に竣工しました。

iFactoryは、製品充填までの各操作を連結化することで生産効率化および省エネルギー化を実現する装置で、1時間あたり最大10kg、年間で72トンの生産能力があります。生産品目に応じて柔軟にプロセス変更でき、稼働時間の調整による生産量の調整が可能です。また、従来のバッチ式に比べ1/3の省スペースで生産でき、高い生産効率と省エネ・省人化、コスト削減を実現します。新型コロナウイルス感染症拡大時の医薬品不足にみられたように、緊急性や重要度の高い製品の生産を他国に依存する状況への対応必要性の観点から、機能性化学品生産の国内回帰に欠かせない日本発の独自技術としても期待されています。3月に装置の稼働検証が完了し、医薬品中間体、触媒や染料の多品種製造性能の検証を開始しました。今後は受注可能な体制構築を目指していきます。



iFactory



竣工式の様子

会社概要

会 社 名 高砂香料工業株式会社
(TAKASAGO INTERNATIONAL CORPORATION)
本 社 〒144-8721 東京都大田区蒲田 5 丁目 37 番 1 号
ニッセイアロマススクエア 17F
T E L 03-5744-0511
創 業 1920年2月9日
資 本 金 92億4,853万8,972円

国内事業所一覧

本 社 大 阪 支 店 名古屋支店 福 岡 支 店
平塚研究所 平塚工場 磐田工場 鹿島工場 三原工場

国内子会社

株式会社高砂ケミカル	高栄産業株式会社
高砂スパイス株式会社	高和産業株式会社
高砂フードプロダクツ株式会社	有限会社高砂保険サービス
高砂珈琲株式会社	南海果工株式会社
株式会社高砂インターナショナルコーポレーション	高砂香料西日本工場株式会社
株式会社高砂アロマス	

取締役および監査役 (2023年6月28日現在)

代表取締役社長	榊山 村 聡
取締役	依 形 達
取締役	山 川 健
取締役	染 川 史
取締役	谷 中 浩
取締役	松 野 直
取締役	水 野 裕
取締役	磯 川 樹
取締役	塚 本 恵
取締役	小 野 上 哲
取締役	川 江 宏
常務取締役	中 康
監査役	小野哲氏
監査役	中江康男氏

(注) 1. 取締役榊山依良治氏、松田浩明氏、塚本恵氏は社外取締役であります。
2. 監査役小野哲氏、中江康男氏は社外監査役であります。

執行役員 (2023年6月28日現在)

社長	榊山 村 聡
常務執行役員	依 形 達
常務執行役員	山 川 健
常務執行役員	染 川 史
常務執行役員	谷 中 浩
常務執行役員	松 野 直
常務執行役員	水 野 裕
常務執行役員	磯 川 樹
常務執行役員	塚 本 恵
常務執行役員	小 野 上 哲
常務執行役員	川 江 宏
常務執行役員	中 康
常務執行役員	小野哲氏
常務執行役員	中江康男氏

THE TAKASAGO COLLECTION

高砂コレクション®は、香りや香料が歩んできた長い歴史と、その地理的な広がりを反映して、古代エジプトの香油瓶から現代の香水瓶に至るまでの、香りを容れるさまざまな形の「器」のほか、日本の香道具や香木、さらには香りに関する絵画やポスターといった、多様な時代と地域、形態のものから構成される多彩なコレクションとなっています。

コレクションは他美術館などに協力して出展するほか、本社に設けたギャラリーでご覧いただけます。

十四代今泉今右衛門の対香炉 — 「対」という日本の美意識 —

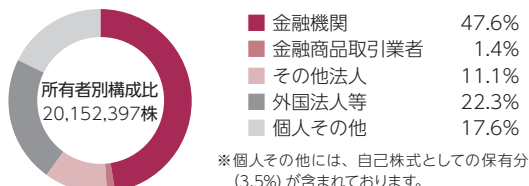
当社創業100周年を記念して、人間国宝 十四代今泉今右衛門氏に制作を依頼した、「色絵薄墨墨はじき四季花文対香炉」が高砂コレクション®に加わりました。この作品は、四季の草花を「対」で表現した、華やかさの中に静謐な美しさを湛えた香炉です。十四代の代名詞である「雪花墨はじき」や「プラチナ彩」といった技法が使われ、今右衛門の魅力を余すことなく伝えていきます。



株式の状況

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	20,152,397株
株主数	5,440名

株式の分布状況



大株主

株主名	所有株式数(千株)	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,825	9.4%
日本生命保険相互会社	1,468	7.5%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,124	5.8%
BNP PARIBAS PARIS/2S/JASDEC/BNPP SA RETAIL FRANCE	994	5.1%
株式会社三菱UFJ銀行	947	4.9%
共栄火災海上保険株式会社	780	4.0%
中江産業株式会社	720	3.7%
高砂香料従業員持株会	564	2.9%
株式会社紀陽銀行	471	2.4%
HSBC PRIVATE BANK (SUISSE) SA GENEVA - SEGREG UK IND1 CLT ASSET	440	2.3%

- (注) 1. 当社は自己株式696,583株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。また、持株比率は発行済株式の総数から自己株式を控除して計算しております。
2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)、株式会社日本カストディ銀行(信託口)の持株数には信託業務に係る株式数が含まれております。

表紙の写真

貝葉時絵沈箱

黒漆で美しく塗られた箱の表面には、金銀の蒔絵で流水に貝葉文が描かれている。三月三日、桃の節句のころは潮干狩りに好適な季節でもあり、貝の文様は、古来、女性の持ち物に好んで描かれてきた。また、懸子(身の縁に懸けた小さな盆)にきっちり収められた香箱の蓋表にも、「桐壺」、「若紫」、「紅葉の賀」など「源氏物語」の各帖を象徴する文様が表されており、この箱が女性の調度として作られたものであることが明らかとなる。

撮影：十文字 美信

株主メモ

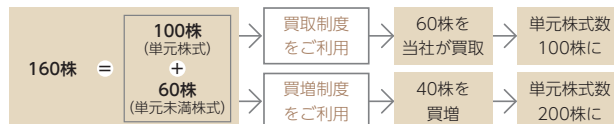
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関	同
(同連絡先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話 0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場(化学)
証券コード	4914
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告により行う
公告掲載URL	https://www.takasago.com/ja/ir/e_announce.html ※ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株式に関する手続きについて

● 単元未満株式(100株未満の株式)買取・買増制度について

当社株式の証券市場での取引は100株単位(1単元)となっておりますため、単元未満株式(100株未満)を市場で売買することはできません。このため、当社では「単元未満株式買取・買増制度」をご用意しております。単元未満株式をご所有の株主さまは、ぜひ買取・買増制度のご利用についてご検討くださいますようお願い申し上げます。

買取・買増制度の例(160株ご所有の場合)



サステナビリティ分野の取り組み

当社グループは、持続的な社会の実現に向けて、環境保全をはじめとしたさまざまな課題に対しグローバルに取り組んでいます。詳細については、当社ホームページ「サステナビリティ」をご参照ください。



高砂香料工業株式会社
『サステナビリティ報告書 2022』

URL

https://assets.takasago.com/prod/default/s3fs-public/2022-12/Sustainability%20Report_2022_JP_1130-2.pdf



グローバルネットワーク | GLOBAL NETWORK |

ヨーロッパ・中東・アフリカ

フランス	Takasago Europe Perfumery Laboratory S.A.R.L.
ドイツ	Takasago Europe G.m.b.H.
	Takasago International (Deutschland) G.m.b.H.
イタリア	Takasago International (Italia) S.R.L.
スペイン	Takasago International Chemicals (Europe), S.A.
	Takasago International (España) S.L.U.
イギリス	Takasago (U.K.) Ltd.
トルコ	Takasago International Turkey Esans Ve Aroma San. TIC. A.S.
南アフリカ	Takasago International Corporation South Africa (Pty) Ltd.
マダガスカル	Takasago Madagascar S.A.
モロッコ	STE Cananga S.A.R.L.

アメリカ大陸

アメリカ	Takasago International Corporation (U.S.A.) Centre Ingredient Technology, Inc.
メキシコ	Takasago De Mexico S.A. De C.V.
ブラジル	Takasago Fragrâncias E Aromas Ltda.



アジア・パシフィック

日本	Takasago International Corporation	パキスタン	Takasago International (Pakistan) Pvt. Ltd.
シンガポール	Takasago International (Singapore) Pte. Ltd.	中国	上海高砂香料有限公司
フィリピン	Takasago International (Philippines), Inc.		上海高砂・鑑臣香料有限公司
タイ	Takasago Import and Export (Thailand) Ltd.		廈門華日食品有限公司
インドネシア	PT. Takasago International Indonesia		高砂香料 (広州) 有限公司
	PT. Takasago Indonesia	韓国	Takasago International Corporation (Korea)
インド	Takasago International (India) Pvt. Ltd.	マレーシア	Takasago International (Malaysia) Sdn.Bhd.